学校だより

翔　　空

№１２　平成２３年　８月２６日（金）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、**希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願い**を込めて、翔空の碑ができた。

◆校庭の放射線量について

７月までの間に校庭の表土を２回に分けて、６ｃｍ程除去しました。その上で、８月上旬には、トラック22台分の土を猪苗代方面から持って来て被せました。今回のこの措置により、校庭の放射線量はずいぶんと低下しました。ここの所、校庭については、１ｍの高さでは、０．２２～０．４２マイクロシーベルト／ｈの間でほぼ推移しています。（１ｃｍの高さより高いのです）

ちなみに、学区内の放射線量を測ったところ、場所によってはまだまだ高い所もあるため、今後の対応を市教委と相談の上、進めて参りたいと考えています。当然、小学校２校との連携を図って参ります。

８月１日に着任してから、生徒が一生懸命に部活動に取り組む様子をうかがうことができました。８月２０日に喜久田ふれあいセンターで実施された復興祭における吹奏楽部の演奏のすばらしさや、英語弁論に出る生徒の練習の様子などにとても感心しました。

【英語のことわざ ②】

今回の諺は、まさに時間の大切さを訴えるものです。

"Time flies, doesn't it?"

直訳：「時は本当に速く（飛ぶ）過ぎるものなのですねえ。」

意訳：「光陰矢のごとし」"Time flies like an arrow."とも言います。

読み方：「タイム　フライズ　ダズント　イット」

「時間」は、アインシュタインではありませんが、相対的なものだと思いませんか？退屈なものに取り組んでいるときには、いつまで経っても時間が過ぎないし、反対に、楽しいこと・自分の好きなことをやっているときには、あっという間に時間は経ってしまいます。いつも、こんな風でありたいものです。

あなたは、山登りかガーデニングか

～生徒と共に歩む教師がいてこそ夢が成就する～

新学期が始まって２日が経ちました。学校の様子や先生方、そして生徒の様子も少しずつ見えてきました。毎朝、生徒の元気な挨拶の声が響き、楽しい学校生活が始まったという感じがします。私にとって、中学校勤務は熱塩加納村（現在は喜多方市）の会北中学校の教頭時代以来となります。（会北中教頭～県教育センター主任指導主事～柳津町立西山小校長～喜久田中校長）夢にまで見た思春期のむずかしい年頃の子供たち相手の中学校勤務です。私は秋風が吹き始めるこの季節が大好きです。

さて、ある教育雑誌を読んでいたら、こんな記事が載っていました。

「『山登りかガーデニングか』といっても、趣味の話ではない。授業に臨む教師の姿として、どちらがふさわしいかである。山登りであれば、教師はまず、登る山についての情報を集め、最も適切なルートを設けなければならない。つまり、到達目標の設定とカリキュラム作成が必要である。登り始めたら、一人一人の様子に目を配りながら、生徒を励まし、一歩一歩頂上をめざし前進する。途中で霧が出たり生徒がバテた場合には、登るルートやペースを調整しなければならない。この場合でも、教師に求められるのは、困難に遭遇しても決してあきらめることなく、全員を頂上に導く強い意志と体力である。そして、頂上に辿り着いた時には、生徒と喜びを共有するのである。

一方、ガーデニングにたとえれば、教師の仕事はまず、人間関係という土地を耕す作業がくる。不信の石が混じっている土地では、何を植えても成長は望めない。だからこそ、教室の雰囲気づくりが最初の仕事となる。次に、植える種の種類を見極め、最も美しく開花するように、植え付けや水やり、除草に気を配る。授業で言えば、生徒の能力や個性を考えて、授業の流れや活動を工夫しなければならない。だが、ガーデニングで最も大切なことは、成果をあせることなく、花の成長を楽しむ心のゆとりであろう。つまり、教師自身がガーデニングを楽しむことがまず必要なのである。」

私は短気な方なので、ガーデニングには向かないかも知れません。いずれにしても、生徒に授業をする場合には、生徒を励ましたり、生徒の可能性を信じながら、成長過程を楽しむ気持ちのゆとりみたいなものを持つことは、私たち教師に特に必要だと考えます。また、山登りにしてもガーデニングにしても、授業そのものを生徒と共に十分に楽しむ教師の気持ち（心の持ちよう）こそが必要だと思うのです。

９月５日には、市の駅伝大会があります。夏休みの間、暑い最中に一生懸命走る練習をしてきた選手たちが、きっと自分たちの持つ力を出し切るでしょう。

３年生にとっては、高校受験に向けての準備が本格的に開始されました。先生方は、生徒の夢実現に対して苦労を惜しみません。どんな些細なことでも結構です。相談事は担任の先生を通して学校にお伝え下さい。

■　この学校だよりは、私の私的な意見をお伝えしながらも、保護者の皆様に十分役に立つ情報を提供したいと考えております。